

# 評価の高まっている 5歳児健診の導入を



若園ひでこ議員

【議員】乳幼児の身体・精神の発達に対する母子事業の健診のその目的は。

【健康部長】心身共に、健やかに育つことをめざしている。健康な基礎が形成される重要な保健活動であり、疾病の早期発見の役割と共に、生涯の健康づくりとなっている。

【議員】発達障害の早期発見や、その認識は。

【健康部長】充分認識し、適切に対応している。

【議員】3歳児健診と就学児健診との間で、5歳児健診の評価が高まっている。実施は各自治体に委ねられているが、導入の考えは。

【健康部長】国からのいろんな形で情報もある。研究をしていく必要があると承知している。

## 認知症になっても 安心して暮らせる町

【議員】県から要請された「認知症資源活用モデル事業」のその成果は。

【福祉部長】①認知症を理解し、認知症の本人やその家族を応援するサポーターの人員増加②徘徊搜索模擬訓練により、地域と関係機関とのネットワーク構築③「認知症になっても安心マップ」の作成があげられる。

【議員】マップの配布はモデル地区と関係機関のみとのこと。みなさんが共有すべきものと思う。町全体に配布する予定は。

【福祉部長】部数の制限があり、予定はない。全戸配布は、今後の課題。

【議員】モデル事業の計画と実施とのギャップは。

【福祉部長】徘徊者について①町外へすぐに出てしまう②氏名公表の必要性③理解者が少なかつた。

【議員】今後の課題は。

【福祉部長】認知症サポーター・キャラバンメイトの増員、徘徊 ネットワークや予防活動と介護予防事業とをあわせて、充実していきたい。

# 東郷町の近未来図 市制または合併に対する町長の所見は



有元洋剛議員

【議員】三好町も来年一月市制へ移行の予定。当町の方向及び取組みはどうか。

【町長】道州制の流れを考えると、一定規模の大きさが必要になる。単独で行くのが理想だが現在の財政力では難しい。しかし合併のためには相手がいるので、まずは財政をしっかりと行っていくことが肝要。財政の健全化のため一歩一歩進めていきたい。町民ともじっくり話し合い、第5次総合計画策定の中でも議論を高めて行く。

## 緑化計画推進 状況

【議員】平成21年度から導入される「あいち森と緑づくり基金」の当町における具体的な行動計画は。

【経済建設部長】繁茂した竹林等身近な里山林の整備や和合ヶ丘本通の銀杏並木のような美しい並木道の整備等が考えられる。

すでに2月から雇用増進策の一環として、労務作業員二名を採用し、白土の町有竹林の間伐等整備に当たっている。

## 団地における 緑化推進を

【議員】宅地の分割により団地の緑がどんどん減っている。緑の防火壁となる常緑樹の生け垣作りを奨励してはどうか。

【経済建設部長】名古屋市の事例もあるので研究したい。

【議員】様々な緑化を推進することによって、「美しい緑、住み良い町、東郷町」という町づくりを目指したいが、緑豊かな町づくりに対する町長の考えは。

【町長】町づくりの要点は環境自然保護である。田畑も含め緑豊かな町にしたい。

## 史跡伝承石碑の 整備

【議員】町制10周年を記念して建設した史跡伝承の石碑は未完成。伝承できるよう整備して欲しい。

【教育部長】平成22年の40周年に向けてそれぞれの史跡説明板を建てたい。